



第 44 号  
2016 年 3 月 25 日



埼玉県合唱連盟  
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13  
(朝日新聞さいたま総局内)  
TEL 048-824-8161  
FAX 048-831-5310  
<http://saicl.net/>

## 第 68 回 全日本合唱コンクール全国大会

中学校・高等学校部門

2015 年 10 月 24 日(土)・25 日(日)  
於：ソニックスシティ 大ホール

昨年秋 10 月の佳き日に、おかげさまをもちましてコンクール全国大会中学校・高等学校部門をここ埼玉の地で無事に執り行われましたことを、ご報告致します。

会場は大宮・ソニックスシティ大ホールで、客席収容人数は県内最多の 2,500 人です。例年、チケットは完売必至であるため、なるべく大勢の方に聴いていただけるように…と考え、このホールに致しました。

しかし、私たち埼玉県連の事業では普段あまり使用していないホールなので、会場の構造などは熟知しておらず、全ての準備は 0 (ゼロ) からの出発でした。そのため、視察や打ち合わせはより慎重に、念入りに行いました。

また、同じ主催者である朝日新聞社さんには、準備段階から大々的に記事に取り上げて戴き、広く周知できました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

さて当日、我々スタッフは早朝から元気に会場入りし、全体打ち合わせでは「スマイル」を心がけて戴きたい旨を伝えました。「どのポジションにいても、微笑みを以て当たっていただきたい。」ということです。

スタッフの皆さんがあれをもとに、スムーズな進行と運営を実行して下さったおかげで、出演者、審査員、聴衆の皆さん、関東支部や全日本の役員方から「埼玉県のスタッフは良いですね。」とお褒めの言葉を戴きました。立場は違っても、会場に集



コバトンと次年度開催県へ引き継ぎ

まつ皆さんには笑顔で参加し、笑顔で帰って戴ける…そんなコンクールに近づけたのではないかと思います。

初日の閉会式には、上田知事から壇上でお言葉を戴くことができました。また、私からは「今日はコンクールという場であるから、お互いライバルになるが、本来皆『仲間』である」ことを強調した挨拶を申し上げましたが、全国から集まつた生徒たちは、しっかりと受け止める空気で応えてくれました。

大勢の方々の協力のおかげで、心に残る素晴らしい全国大会が運営できましたことを嬉しく思い、皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

埼玉県合唱連盟理事長 小野瀬 照夫



### 【協力合唱団】

春日部女子高校／伊奈学園総合高校／大宮高校／  
春日部高校／星野高校／不動岡高校／川越高校／  
久喜高校／大宮光陵高校／所沢北高校／埼玉大学／  
浦和女声合唱団／コーラル・セルシオール／  
女声合唱団コール・秋桜／コーラル・ディジー／  
コール・ドルチェ／コーラル・ソシア

撮影：スタッフ・テス株

## ～第68回全日本合唱コンクール全国大会～

### 【高等学校部門Bグループ】

#### 松山女子高等学校音楽部

部長 長田美希

私たちは、全日本合唱コンクールに出場し、本校初となる金賞を受賞しました。また本校音楽部創部60周年という記念すべき年に、地元埼玉県開催の全国大会にて演奏することができ、部員一同大変光栄に思います。

今年度は136名でラテン語とロシア語の曲に挑戦しました。読み方や発音、解釈等とても苦労しましたが、顧問の吉田みどり先生のご指導の下、大きく成長することができました。3学年共に初めての全国の舞台でしたが、本番は最高の笑顔で演奏することができました。今回の演奏ができたのもOGの方々をはじめ、ご声援をくださった多くの皆様、そしていつも支えてくれた家族のおかげです。皆様への感謝の気持ちを胸に、これからも練習に励みたいと思います。



金賞

### 【高等学校部門Bグループ】

#### 浦和第一女子高等学校音楽部

部長 岡崎未奈

私達は「ともに歩まん」というスローガンのもと、全国大会に向けて活動してきました。目標の為に、仲間はもちろん、歴代の先輩方の思いや伝統とともにありたいという気持ちを常に持ち、全員が同じ方向を見て進むことを目指した1年間でした。

本番は、自分達の伝えたい音楽を心から表現することができました。地元のお客様から多くのご声援を頂き、大きな達成感を得るとともに感謝の気持ちで一杯でした。また、念願の金賞を頂くことができて本当に嬉しかったですし、同じ目標を仲間とともに追いかけた日々は素晴らしい経験となりました。

今後も埼玉県の合唱を盛り上げができるよう、全国大会で学んだことを活かし練習に励んで参ります。



金賞

### 【高等学校部門Bグループ】

#### 浦和高等学校グリークラブ

部長 松丸文太

#### 山頂のその先へ

私たち浦和高校グリークラブでは、今回の全国大会出場は8年前に初出場を果たして以来の快挙でした。そして、それは部員だけでなく、顧問の先生方をはじめとし、私たちを支えてくださっている多くの方々の悲願でもありました。

全国大会へ至るまでの道のりは、まるで富士山を登るようなものでした。5合目までは楽であった道のりも、全国大会という山頂に近づくにつれ、険しくなっていきました。しかし、確固たる意思のある3年生、明るく弾けた2年生、努力家ぞろいの1年生がその個性を部活内、そして、合唱で存分に發揮したことで夢が現実となりました。また、たくさんの方々の応援も私たちに飛躍をもたらしてくださいました。

浦和高校グリークラブは、私たちを見守ってくださっている方々への感謝を忘れず、また、全国大会出場という結果に甘んじることなく、男声合唱の魅力をいつまでも伝えられる合唱団を目指し、これからも精進していきたいと思います。



銅賞

## ～第68回全日本合唱コンクール全国大会～

### 【中学校部門混声合唱の部】

春日部市立豊春中学校混声合唱団

部長 我妻 真由

「合唱の豊春」と呼ばれるほど合唱の盛んな豊春中学校。その中でも更に合唱を愛してやまないのが、私たち豊春中学校混声合唱団です。今回、少年の瑞々しく繊細な感情を歌った「さようなら」「うそ」の2つの難曲に挑みました。部員の半数は他部活を兼ねる有志ですが、全員で助け合い、細かな強弱・音程を徹底して揃え、曲の完成度を高めていきました。私たちがこうして練習に打ち込み、全国大会という夢のステージに立つことができたのは、先生方や保護者の皆様、そして多くの方々の温かいご指導・ご支援があったからこそです。これからも「言葉を、思いを伝える」合唱をお届けしていきます。本当にありがとうございました。



銅賞

### 【中学校部門同声合唱の部】

ふじみ野市立大井中学校音楽部

部長 鈴木 優子

全国大会に、2年連続9度目の出場を果たすことができ部員一同嬉しく思っています。「昨年度は7年ぶりの出場だったこと」「開催地が（地元）埼玉県」ということは大きなプレッシャーだったのですが、「なんとしても全国大会に出たい」という強い思いの方が、それを上回りました。出場できたのは、応援してくださった先生方、友達、保護者の方々、地域の方々、そして指導してくださった顧問の先生方のおかげです。本当にありがとうございました。本番では、あたたかい気持ちで、楽しんで、思い切り演奏することができました。これからも『すべての人に届け、愛を込めた感動の合唱』の部訓と、支えてくださる方々への感謝の気持ちを胸に、日々練習に励んでまいります。



銀賞

2015年11月21日(土)・22日(日) 大学職場一般部門

於：長崎県／長崎ブリックホール

### 【大学職場一般部門混声合唱の部】

scatola di voce

代表 斎藤 圭介

地元開催で沸いた中学高校部門のおよそ1か月後、私たちははるばる長崎の地で開催された大学職場一般部門に関東代表として出場させていただきました。異国情緒のある街並み、坂上から見た港の夜景、食でもちやんぽん、カステラなど魅力は尽きませんでしたが、とりわけ日本二十六聖人、そして先の大戦で亡くなられた多くの方々が眠る

“祈りの地”に私たちの音楽を届けられたことは、合唱人として本当に幸せに思います。自由曲で演奏した「ベツレヘムに幼子生まれぬ」は、大浦天主堂にもその場面を模した展示があり、思い出深い曲となりました。応援してくださった方々への感謝とともに、これからも想いのこもった演奏をつくっていきたいと思います。



銅賞

撮影：スタッフ・テス(株)  
株大阪フォトサービス

～第68回全日本合唱コンクール全国大会～

## 全国大会シンボルマークをデザインして

埼玉県立春日部女子高等学校 月野汐莉

この度は全日本合唱コンクール全国大会中学校・高等学校部門のシンボルマークに採用して頂きました。ありがとうございます。

最初、私のデザインが採用されると聞き驚きました。数ある作品の中から選ばれましたことを感謝しています。このデザインは、コバトンが楽しそうに生き生きと歌を歌っている様子をイメージして描きました。コバトンを描く機会はありませんので、貴重な経験ができました。実際に会場を訪れたとき、私がデザインしたバッジを皆さんに付けていたのを見て、とても嬉しかったです。全国大会という素晴らしい場にこのような形で参加することができ光栄です。投票して下さった方々、合唱連盟の皆様、本当にありがとうございました。



## 第70回関東合唱コンクール審査結果

2015年9月19日(土) 中学校部門(混声・同声) 於: 神奈川県／相模女子大学グリーンホール

20日(日) 高等学校部門(A・Bグループ) "

10月4日(日) 大学職場一般部門 於: 茨城県／茨城県立県民文化センター

**中学校 混声** 【金賞】春日部市立豊春中学校混声合唱団、春日部市立武里中学校合唱部

【銀賞】さいたま市立宮原中学校混声合唱団

【銅賞】所沢市立三ヶ島中学校合唱団

**中学校 同声** 【金賞】ふじみ野市立大井中学校音楽部、所沢市立向陽中学校コーラス部、所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部、春日部市立春日部中学校合唱部、春日部市立武里中学校合唱団

【銀賞】熊谷市立富士見中学校音楽部

**高等学校 A** 【金賞】県立松伏高校合唱部

【銀賞】栄東高校コーラス部

**高等学校 B** 【金賞】県立松山女子高校音楽部(支部長賞・全日本理事長賞)、県立浦和第一女子高校音楽部、県立浦和高校グリークラブ、星野高校音楽部

【銀賞】県立不動岡高校音楽部、叡明高校音楽部、県立大宮高校音楽部、県立熊谷高校音楽部、県立久喜高校音楽部

**大職一般大学ユース** 【金賞】Chor OBANDES

【銀賞】彩の国コンソーシアム合唱団 KIRARA☆Mixed

**大職一般室内** 【銀賞】Utabonne

**大職一般同声** 【銅賞】La Mer, Il Campanile

**大職一般混声** 【金賞】scatola di voce

【銀賞】Wings、合唱団「あべ犬東」

下線の団体は、全国大会出場

## 平成28年度合唱コンクールの審査員について

### 第59回 埼玉県合唱コンクール

8月27日(土) 高等学校部門

磯山 雅、清水敬一、武田雅博、平松英子、山脇卓也

8月28日(日) 小学校部門、中学校部門(混声・同声合唱の部)

磯山 雅、清水敬一、鈴木茂明、武田雅博、平松英子

9月4日(日) 彩の国部門、大職一般部門(同声・混声・室内・大学ユース合唱の部)

磯山 雅、清水雅彦、鈴木茂明、平松英子、山脇卓也

### 第71回 関東合唱コンクール

9月17日(土) 中学校部門混声・同声(千葉県)

9月18日(日) 高等学校部門A・B(千葉県)

片野秀俊、澤畠恵美、鈴木茂明、長谷川冴子、本山秀毅

10月2日(日) 大職一般部門(埼玉県／さいたま市文化センター)

雨森文也、片野秀俊、鈴木茂明、藤井宏樹、本山秀毅

コンクール参加団体は第71回関東合唱コンクール終了時まで、埼玉県合唱コンクール及び関東合唱コンクールの審査員に指導を受けることを禁じます。

## 第27回

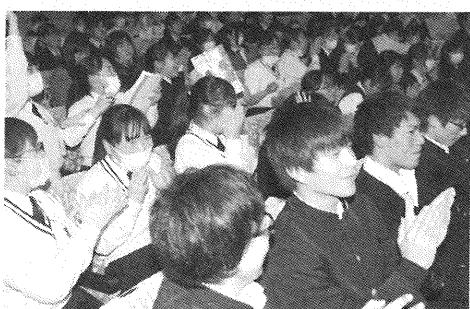
**埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト**

2016年1月29日(金) 高等学校の部

30日(土) 中学校の部

31日(日) ジュニア・レディー・ユース・一般の部

於：久喜総合文化会館



埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテストにご参加いただきありがとうございました。

63団体出演の高等学校の部を皮切りに、中学校、ジュニア、レディー、ユース、一般と熱のこもった演奏が続く中、関東大会への推薦団体5団体を含む各賞、特別賞が決まり、今年度も無事に3日間のコンテストを終了いたしました。

運営側としては、2日目が降雪の予報で気が気ではなかったのですが、当日は予定通りの実施が出来てホッと一安心する一方、インフルエンザで出場辞退の団体もありとても残念な思いもありました。

また、それぞれの部門で演奏レベルやコンテストへの意気込みアップを感じる一方、「夏のコンクールとの差違が感じられない。もう一度“アンサンブル”を考えてみてほしい。」との審査員の先生方からのご指摘もありました（特に中学校、高等学校）。ここについてはそれぞれの団のとらえ方だとは思いますが、主催者、出演者ともにもう一度考えてみる必要があるのではないかと思います。

来年度にむけ、より良い大会になるよう連盟としても検討を重ねております。変更点などについては、総会時に皆さんにお伝えしたいと思っております。

来年度も多くの団体の出演をお待ちしております。

(常務理事 國弘 雅也)

撮影：スタッフ・テス株

**第5回 関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト 審査結果**

2016年3月13日(日) 於：千葉県／東金文化会館

**小中学校部門** 【金賞】 春日部市立武里中学校合唱部

**高等学校部門** 【金賞】 星野高等学校音楽部A

星野高等学校音楽部B

**一般部門** 【金賞】 Utabonne

【銀賞】 Paradise Relax



## 第27回 埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト審査結果

### ★高等学校の部 (1/29)

- 【金賞】星野高校音楽部 A (知事賞)、星野高校音楽部 B (教育長賞)、叡明高校音楽部 C (総局長賞)、松伏高校混声合唱団、大宮光陵高校合唱団 B、松山女子高校音楽部 B、浦和第一女子高校音楽部 B、川越女子高校音楽部、浦和第一女子高校音楽部 A、松伏高校合唱部 A、大宮高校音楽部 B、松山女子高校音楽部 A、星野高校音楽部 C、秩父高校音楽部、松伏高校合唱部 B、熊谷女子高校音楽部 A
- 【銀賞】伊奈学園総合高校音楽部、久喜高校音楽部 B、芸術総合高校合唱部、浦和高校グリークラブ A、叡明高校音楽部 A、久喜高校音楽部 A、大宮光陵高校合唱団 A、県立川越高校音楽部 A、大宮高校音楽部 A、西武学園文理高校合唱部、蕨高校音楽部 A、浦和麗明高校合唱部、熊谷女子高校音楽部 B、川越南高校音楽部、不動岡高校音楽部 A、所沢北高校音楽部
- 【銅賞】栄東高校コーラス部、熊谷高校音楽部、神奈川県立多摩高校合唱部 B、不動岡高校音楽部 B、春日部女子高校音楽部 A、さいたま市立浦和南高校音楽部、浦和高校グリークラブ B、春日部高校音楽部、叡明高校音楽部 B、県立川越高校音楽部 B、春日部女子高校音楽部 B、春日部共栄中学高校合唱部、小川高校音楽部、上尾南高校音楽部、神奈川県立多摩高校合唱部 A、川越西高校合唱部
- 【優良賞】蕨高校音楽部 B (奨励賞)、淑徳与野高校音楽部、羽生第一高校コーラス部、寄居城北高校コーラス部、埼玉栄高校コーラス部、坂戸西高校音楽部、浦和北高校音楽部、開智未来中学高校コーラス部 A、花咲徳栄高校コーラス部、大宮開成中学高校コーラス部、熊谷西高校合唱部、鳩ヶ谷高校合唱同好会、盈進学園東野高校合唱部、細田学園高校合唱部、久喜北陽高校コーラス部  
※岩槻高校合唱部は都合により棄権  
※優良賞 (奨励賞を除く) は出演順に記載

### ★中学校の部 (1/30)

- 【金賞】春日部武里中学校合唱部 A (知事賞)、所沢中学校 A (教育長賞)、春日部中学校合唱部 A (総局長賞)、所沢狭山ヶ丘中学校合唱部、所沢向陽中学校コーラス部、蕨第一中学校音楽部、ふじみ野大井中学校音楽部 A、さいたま宮原中学校合唱団 A、秩父第一中学校コーラス部、熊谷富士見中学校音楽部
- 【銀賞】所沢南陵中学校合唱団、栄東中学校コーラス部 B、川口南中学校、川口青木中学校コーラス部、さいたま城南中学校合唱団、所沢上山口中学校合唱団、所沢中学校 B、ふじみ野大井中学校音楽部 B、川口西中学校音楽部、伊奈小針中学校合唱部、上尾中学校コーラス部
- 【銅賞】星野学園中学校音楽部、春日部武里中学校合唱部 B、栄東中学校コーラス部 A、さいたま桜山中学校合唱団、春日部中学校合唱部 B、さいたま宮原中学校合唱団 B、深谷上柴中学校音楽部、宮代須賀中学校合唱部、小鹿野中学校音楽部、熊谷東中学校合唱部
- 【優良賞】熊谷大原中学校合唱部 (奨励賞)、羽生東中学校音楽部、春日部豊春中学校混声合唱団、加須西中学校合唱団、開智未来中学高校コーラス部 B、日高高根中学校合唱部、加須昭和中学校音楽部、川越第一中学校合唱部  
※東松山東中学校コーラス部は都合により棄権  
※優良賞 (奨励賞を除く) は出演順に記載

### ★ジュニアの部 (1/31)

- 【金賞】川口並木小学校白百合合唱団 A (教育長賞)、所沢フィーニュ少年少女合唱団 (総局長賞)、春日部ジュニアコーラス、上尾小学校合唱団 B
- 【銀賞】さいたま海老沼小学校合唱部、高坂ジュニアコーラス、川口戸塚綾瀬小学校むくろじ合唱団、上尾小学校合唱団 A、深谷市少年少女合唱団
- 【銅賞】少年少女合唱団ピアーチェ、日高市少年少女合唱団コロ・トゥッティ、川口並木小学校白百合合唱団 B

### ★レディーの部 (1/31)

- 【金賞】Ladies Choir 潮の音 (教育長賞)、浦和ブルーコーラス (総局長賞)

- 【銀賞】コーラル・デイジー、ピアチエーレ

- 【銅賞】T-Croce、Kalavinka

### ★ユースの部 (1/31)

- 【金賞】Paradise Relax (知事賞)、合唱団 amore (教育長賞)、アンサンブル・シュル フラウエン (総局長賞)

- 【銀賞】Chor Ursa Major、合唱団マカロニ

- 【銅賞】合唱団うたごころ、混声合唱団 獅子 B

- 【優良賞】男声合唱団「Le Terre」(奨励賞)、混声合唱団 獅子 A

### ★一般の部 (1/31)

- 【金賞】Utabonne (教育長賞)、Wings (総局長賞)、男声あんさんぶる「ボパイ」

- 【銀賞】混声合唱団 川越牧声会、Cache-Cache、男声アンサンブル・カンフォーラ

- 【銅賞】みどりの子合唱団、コール・マーガレット、コロ・ルリオ

- 【優良賞】深谷ブリックスハーモニー (奨励賞)、コール・カーメティー、リクルート混声合唱団

※下線の団体は関東支部大会への代表

～第27回埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト～

# # は光の数 ♭ は涙の数

## 武田雅博先生インタビュー SVEC3日間を語る

3日間審査員を務めていただいた武田雅博先生にお話を伺いました。

**高校：**特に女声で感じたのですが、割と深いフォームで歌う傾向があるので、そこに留まらず多様な音色にトライしていただきたい。またレパートリーの多様化、特にハンガリーのものが多いので、例えばバルト海沿岸の曲、アジア、オセアニアなど新しい曲を見つけていただけるといいかな、と思いました。

**中学：**夏のコンクールとは違う、少し難易度の低い曲をお互いに聴きあって、指揮をせずに息を揃えることで、音楽をお互いに創っていく経験を育てられると生徒の自主的な表現の意欲というものが出てくるのでは、と思いました。

**ジュニア：**大きい子たちと小さい子たちの声が素敵にブレンドすること、これが小学生だけで歌うのとは違う味わいを出すと思います。ただ小学生が共感を持って歌える曲を選んでほしい、子供たちに与える曲は「音楽の栄養」のあるものをと思います。

**レディー：**練習量が沢山ないと思いますが、そんな中このコンテストに出るだけでも十分素晴らしい。ただ外国語を歌う場合、これは他の部でも言えるのですが、カタカナに直して歌うことは曲の良さを半減させてしまう。日本語の音の世界と、外国語のそれでは息の使い方が根本的に違うわけです。そこまで考えて一言一言の持つ抑揚感によって音楽を生かしてください。

**ユース：**特に最近、若い日本の作曲家などはおしゃれな作品が多いわけです。そういったときに、そのハーモニーを的確に捉えるともっともつといい曲だな、と思えるのではないかでしょうか。

**一般：**人生のベテランの方が沢山出でいらっしゃることに敬意を表します。ただ自分の合唱団の得意、不得意を団員と先生が話し合うことが大事で、自分たちの得意なものが出来る曲をお選びになるのが楽しいのではないかと思います。

**全体：**「調性と音色への挑戦」作曲家は曲が何調から始まり、何調に転調し、何調で終わるかということを「意識」をして考えます。よく言われる言葉に『シャープは光の数、フラットは涙の数』ということがあります。明るく、輝く時は♯系の調性を、優しく、柔らかい時は♭系の調を選びます。アマチュアでもすぐにそれが出来るのが『合唱』だと思います。そういう事を意識するとまた新しい見方が出来てくると思います。

「ピアノで音程を取る事の怖さ」特に「長2度」の音程、主音と第2音の間、第2音と第3音の間、これは「平均律」の音律とは全く違うものです。それが現代の作曲家、ヨーロッパだけではなく日本の作曲家のアカペラにも求められるわけで、特に日本人は第2音を少し低く感じてしまう民族のようです。ですから、短調にしても長調にしても第2音の音程が少し高い方が気持ちいいことを味わう、これはハーモニーディレクターなどでも実際に音として聴けますし、特に7thとか9thではとても変わってきます。勿論そういうふうにして練習しているグループは今日もあったと思いました。

武田先生には3日間審査をしていただきお疲れにもかかわらず、大変温かく、また的確なご講評をいただきました。この記事では先生の本当の温かいお人柄が出ていなくて残念でなりません。武田先生、この度は本当にありがとうございました。  
(インタビュアー 小野瀬照夫理事長、小島嘉子副理事長、吉川誠二理事)

(文責 吉川誠二理事)

撮影：スタッフ・テス株



## 第39回

~~全日本おかあさんコーラス埼玉県大会~~

(第41回おかあさんコーラス埼玉県大会)

2016年3月5日(土)・6日(日) 於:和光市民文化センター

## 響く歌声♪美しいハーモニー♪華やかなステージ♪

平成28年3月5日・6日、和光市民文化センター大ホールにて「第39回全日本おかあさんコーラス埼玉県大会」を開催しました。会場は赤や黄色、ラメなど色とりどりの華やかな衣装と明るく美しいハーモニーに包まれました。

女声ならではのやわらかい歌声や振付、70団体の工夫を凝らした曲作りなど、笑顔と拍手に包まれたステージが繰り広げられ、お互いに高め合う2日間となりました。

2日目の最後には関東大会の抽選会や選考結果の発表にも参加いただきました。キューピー株式会社をはじめ、本大会をご支援いただきました関係者各位に御礼申し上げます。



合唱を愛する女性の祭典、平成29年も和光市民文化センターにて3月4日・5日に開催します。

皆様の御参加をお待ちしております。

(常務理事 大館 直美)



## ♪講師の講評♪



相澤直人先生（指揮者・作曲家）明るい声を出すには豊かな表情でのびのび歌いましょう。そして子音を丁寧に唄うために息を大切にしましょう。



大志万明子先生（声楽家）表情を明るくするため鏡に向かって微笑みかけるようにすると良いですね。日常から姿勢や表情を意識しましょう。



尾形敏幸先生（作曲家）素晴らしい演奏が多かったです。音楽全体を好きになって歌うと表現力も豊かになるでしょう。

撮影：スタッフ・テス株

## 第39回全日本おかあさんコーラス関東支部大会推薦団体

7月2日(土)

コーロ・フォンターナ（抽選）、ブリムローズ（抽選）、Ciel Clair（選考）、Ladies Choir 潮の音（選考）、コーラル・クローバー（選考）、コール・ドルチェ（優先）、ヴォーチェ・ビアンカ（抽選）

7月3日(日)

コール・マーガレット（選考）、大宮コール・ヴァイオレット（優先）、La Passione（優先）、アンサンブル・ソアーヴェ（最優先）、Blanc Bouleau（選考）、ファミーユ・ひろ女声合唱団（抽選）

## 告 知

## 彩の国男声コーラスフェスティバル2016

彩の国男声コーラスフェスティバル2016は関東支部の共催をいただき開催いたします。

**期日・場所** 10月8日(土) 秩父ミューズパーク音楽堂

**内 容** I. 講習会&合同合唱 II. 演奏会

**講習&合同合唱曲目** 山脇卓也氏によるレッスン&指揮にて2曲歌います。

上田真樹 作曲「酒頌」・坂本浩美 作曲「旅立ちの日に」

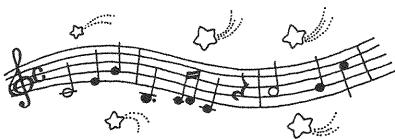
**事前練習会** 7月16日(土) さいたま市産業文化センター3F会議室1・2・和室

**参 加 資 格** 男声合唱を行う団体（加盟・非加盟を問いません）。合同合唱には個人参加も歓迎いたします。

前日（10/7(金)）宿泊者対象に山脇先生を囲んでの夕食会・ブチ前夜祭を予定。恒例の懇親会は野外ステージで行います。多くの皆様のご参加をお待ちしております（詳細は要項をご覧ください）。

～第39回全日本おかあさんコーラス埼玉県大会～

# 聞いてみました！

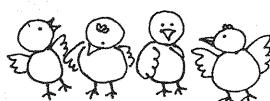


ある中学校の部活の時間、高校の全国大会のVTRを見て生徒が「先生もロングドレスを着て指揮をしてください♡」と投げかけてきました。いつも、私が黒いスーツで指揮をするのでそう思ったのでしょうか。

ドレスの話で盛り上がり、「おかあさんコーラス」の話になってきたので将来「おかあさんコーラス」の担い手である女子中学生から出てきたクエスチョンをご出演の皆様にお聞きしました。

## Q1 合唱団ができて、何年ぐらいですか？

- 子供の幼稚園のサークルから始まり、来年40周年をむかえます。
- 高校の部活動の卒業生が集まって結成し、再来年50周年をむかえます。
- 30年になります。
- 15、6年になります。



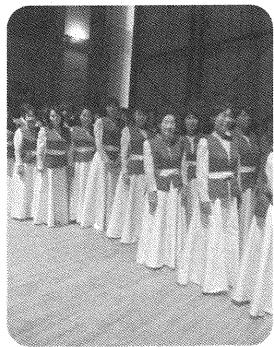
## Q2 衣装はどのくらいお持ちですか？ どのようにして決めるのですか？

- 基本になるものは3、4着。演奏会によって、基本の衣装を少しずつアレンジをして着ています。衣装にあまりお金をかけないようにデザインは衣装係さんを中心に、みんなで決めます。
- 先生のイメージに沿ったものをステージごとにみんなで考えます。先生のOKが出ないとステージでは使えません。
- 5、6着あります。衣装代は安くなるように、いろいろと組み合わせています。今年初めて、採寸して衣装をつくりました。
- 基本は2着とベージュのスーツです。手作りで小物を付けたり、自分たちでビーズを付けたりして、アレンジをしています。



## Q3 合唱をしていて、楽しいことを教えてください

- 健康にとても良い。8人で始めた合唱団も今は50人に。  
指揮者の先生の素晴らしいご指導を受けられることが、大きな楽しみ。  
いろいろな習い事をしましたが40年たって、コーラスだけが続いている。友達が広がっていくこと。年齢の違う人たちと知り合って、同じ趣味を楽しめる。また、若い人、小さな子供たちと同じ歌が歌えることも大きな楽しみ。
- 厳しい先生なのでなかなか褒めていただくことが少ないのですが、褒めていただけるととても嬉しい。先生が辛抱強く教えてくださるので、私たちも頑張れます。声が出たときはとても楽しいです。子育てが終わり、今が一番楽しいときです。
- 心も体もいつまでも若くいられて、思いっきり歌えることがとても楽しい。合唱団は長くいる人も、入って日の浅い人もいるけれど、みんなで仲良く歌えることが楽しい。
- 先生を中心に、みなさんが仲良く歌っていけることが楽しい。団員が仲良しであることが、とても大切です。



快くお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

紙面の都合上、載せきれていない部分がありますこと、お詫びいたします。

(インタビュアー 大館 雅子理事)

## 埼玉県合唱連盟

# 今昔物語

来年度、埼玉県合唱連盟が60周年を迎えるにあたり、その足跡を追ってみました。

右下の表により20年前から現在に至るまでの連盟加盟団体数の推移が読み取れます。

A理事「この20年間で加盟団体の数は随分変わったね。全体で60団体くらい増えたよ。」

B理事「全体的には増えているけど、おかあさん団体の減りは大きいね。」

C理事「でも、女声合唱自体は盛り上がっているよ。若い世代の女声合唱団には一般で登録しているところもあるしね。」

D理事「もしかして“おかあさん”という呼び方がネックかもしれないね。」

E理事「SVECのように“レディー”部門と名付けたらどうだろう？」  
(副理事長 小島 嘉子)

**PICK UP!**

### ～おかあさんコーラス大会～

第1回のおかあさんコーラス埼玉県大会は昭和50年、旧大宮市の大宮商工会館で開催されました。それ以来タイトルが少しずつ変わってきています。

第1～3回 埼玉県お母さんコーラス大会

第4回 ママさんコーラス埼玉県大会

第5回 埼玉県ママさんコーラス大会

第6回～ おかあさんコーラス埼玉県大会

更に第32回から「第30回関東支部埼玉県大会」とダブルタイトルとなりました。関東支部より2年も先駆けておかあさんコーラス大会を開催している埼玉県って、さすがおかあさん大国ですね。

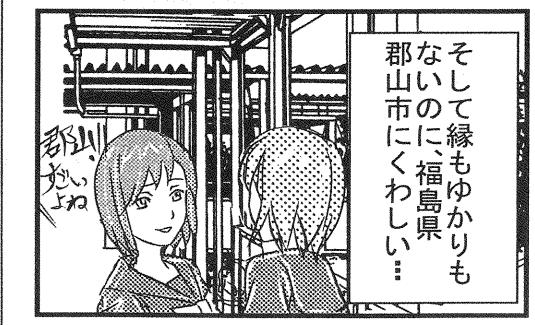
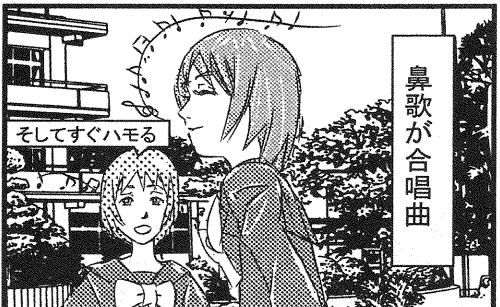
今年は第41回を迎えました。「よのコーラス」さんはこの間一度も欠かさず出演されました。妻として母として幾多の山を乗り越えながら続けてこられた思いの丈をお伺いしました。

「今昔を感じることなく41年経ちました。この大会により友好の輪が広がり、大変勉強になっています。毎年の節目が出来、練習にメリハリがつきます。高齢化の波が押し寄せて来ていますが、第50回を目標に今後も参加していきたいです。」

次回は合唱祭についてお届けする予定です。  
乞うご期待!!

## 印東公民先生の四コマ漫画コーナー

### 合唱あるある ◆合唱人の条件◆



埼玉県合唱連盟 加盟団体数の推移

年 度	少年少女	中学校	高等学校	大学	職場	一般	おかあさん	計
平成7(1995)	8	42	50	4	0	60	131	295
平成12(2000)	7	50	54	4	1	67	143	326
平成17(2005)	10	49	63	5	1	86	140	354
平成22(2010)	14	49	76	4	1	86	133	363
平成23(2011)	15	53	75	5	1	89	130	368
平成24(2012)	21	51	76	6	0	91	123	368
平成25(2013)	22	54	78	6	0	92	123	375
平成26(2014)	18	51	77	6	0	89	120	361
平成27(2015)	16	52	78	6	0	89	113	354

# Tact vol.21



指揮者 牧野 美紀子

## ～二人の師～

3歳、4歳の頃だったのでしょうか、私が生まれて初めて聴いた合唱は県立川越高校音楽部の男声合唱でした。

札幌から川越へと赴任した父は、その2年後には川高で音楽部を作ったのだと思うのですが。常に男声合唱が傍に在る日々の中、幼かった私には川高音楽部は「歌が上手な大人のお兄さん」の印象でしたが、今、大活躍中の川高音楽部の生徒さんの姿を見ると、「可愛いな♡」と思う…長い年月の流れです。中学生になり、父が振る川越牧声会で歌い始め、大人の方達の美

しい声、豊かな表現力を聞きながら、合唱での発声、正しい音程の取り方、その大切さを学びました。

父の口ぐせは「メンタルハーモニー」でした。～心の和、協調～でしょうか。発声練習の後いつもカデンツを大事に練習していました。また、高麗川に釣りに行って河原で歌い、宴会で歌い～と。2人いたらすぐハモる時間。メンタルハーモニーが大事！と聞いても、ふ～ん？と、まだ良く分からぬ私でしたが、今は、「何？何？どんな事？」ともっと聞いておけば良かったと後悔しています。

父の意志を誰よりも深く受け止め、更に拡げて豊かな合唱を教えて下さったのが小高秀一先生です。小高先生の明るい大らかな音楽が今の川越市合唱の礎です。私は小高先生から度々「自分の音楽に団員を閉じ込めるな。まずは伸び伸びと歌わせなさい！」と、言い方は優しいけれど厳しいご指摘を受けてきました。女声合唱一途に来た私が、2年前に小高先生から、先生の最愛の男声合唱団イルカンパニーレをお預かりする事になり、私は幼い日の原点に戻った様な気がしています。

私にとっての2人の師から授かった事はたくさん有りますが、共通している大事な言葉は「聴きなさい！みんなの響きを！」です。

## ※※※※ それぞれの周年記念 ※※※※

### まさあぐうす

40周年

創立メンバー 坂井 紀子



みなさま、こんにちは！「まさあぐうす」です。団名は、その鳴き声が決して美しいとはいえない母ガチョウ (Goose) を意味しています。いつかウグイスやカナリアに…と願いつつも夢かなわず40年が過ぎてしまいました(汗!)。短期的目標を「合唱祭など連盟の事業への参加」に、長期的目標を「演奏会の開催」に置き、活動して参りました。ですから40年続けることができたのは、連盟や、合唱をこよなく愛する各合唱団の皆様という、羅針盤のおかげなのです。この間、連盟より「ヴォーカルアンサンブルコンテスト」にて銅賞(1991年)を、「おかあさんコーラス県大会／通算20回出場」

にて表彰(2001年)をいただくことができ、どんなに励みになりましたことか…。そして、たくさんの曲との出会い・作品に触れることで得られる多くの感動は、私たちの大切な財産となりました。

長い時を経て、人数は最大時の半数にも満たなくなりましたが、昨年12月には「第14回／創立40周年記念演奏会」を催すことができ、今は安堵の気持ちと共に晴れ晴れとした気持ちであります。「合唱の楽しさ・醍醐味を知ってしまった！」ガチョウたちは、未熟ながらも私たちなりに、引き続きこれを追い求めていくつもりです。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。



第14回／創立40周年記念演奏会より

## ♪私たちの場所

Stage

### 合唱団マカロニ

団長 大森 耀介

こんにちは！合唱団マカロニです。合唱団マカロニは春日部市を拠点として活動している合唱団で、大学生や高校生を中心に約20名の団員が所属しております。メンバーのほとんどが中学・高校時代に合唱を経験していた人たちで、「まだ合唱を続けたい！」「もう一度合唱を楽しみたい！」という気持ちでこの団は結成されました。「マカロニのように柔らかな歌声を」をモットーに、コンクールや演奏会への参加や老人ホームでの招待演奏など様々な活動を行っています。団員募集中ですので興味のある方はぜひ練習の見学にいらしてみてください！

Twitterアカウント：@Macaroni\_chor

### 秋草学園高等学校音楽部

顧問 大畠 典子

こんにちは、秋草学園高等学校音楽部です。本校は狭山市に開校し今年で34年になります。「愛され信頼される女性の育成」の教育理念のもと、武蔵野の面影を残す自然に囲まれた環境で日々勉学に励んでおります。

秋草学園高等学校音楽部は「心を一つに…Let's enjoy music」をモットーに、合唱を聴いてくださる方の心に響く女声合唱を目指し、日々活動に励んでおります。今年度は新たに、地域の社会福祉施設でも合唱を行いました。最初のうちはどう接していくのか分からず、苦労もしました。精一杯心を込めて歌うことで大きな喜びを感じ、新たな活力にもなりました。今後も地域に根差した活動を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

### コーラス和の会

創立メンバー 岩本美紀子

2016年3月、和の会は41年目をスタートさせました。過去最高在籍人数46名。現在は24名。20代後半から30代後半のメンバーで結成された和の会。子育てをしながら溌剌と楽しく歌い続けてきました。プラス41年と言う事は？？現在幸せな事に新入会員もあり貴重な存在。ですが、音域も音量もそして、好む曲風やテンポにも差があり、新旧それぞれの思いを満たしつつ、常にステップアップも心がけ指導して下さる先生にはご苦労をおかけしています。その昔「白眉」と講評を戴いた「おかあさんコーラス」は足腰の衰えで欠場。合唱祭のみ。脈々と流れて来た和の会のメロディーの源は「声の和と人の和」。コーラス和の会は永遠です！

### 鴻巣市民混声合唱団

団長 中田 博久

皆様はじめまして、鴻巣市民混声合唱団です。平成28年3月末で発足後丸4年のまだまだ若い合唱団です。

高崎線北鴻巣駅前の鴻巣市立市民センターで月2～3回練習をしています。

初心者、経験者含めて10代から70代までの老若男女が小林先生ご指導のもと発声や表現の基本を学びながら、美しい響きを目指して歌うことを楽しんでいます。

発足当初は少数の合唱団でしたが、徐々に団員が増えて今では20名を超すまでになりました。

これまででは鴻巣市立市民センターで月2～3回練習をしています。

編  
後  
記

Pause第44号をお届け致します。県内外の活発な合唱活動の報告と、今回は演奏現場に密着した臨場感あふれる構成となりましたがお楽しみ頂きましたでしょうか。今後も皆様の豊かな合唱ライフのお手伝いが出来れば光栄です。

(理事 浅子 元)



既存の蔵を利用した新築分譲住宅  
『蔵のある街づくりプロジェクト』



ポラスの分譲住宅  
GOOD DESIGN AWARD 2015

戸建分譲住宅 初受賞！

住まい価値創造企業  
**POLUS**  
ポラスグループ

ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷1-21-2 ☎ 048-989-9119  
(宅建業 国土交通大臣(11)第2401号(株)中央住宅)

ポラスの分譲 検索